



古川 一美 議員



学校給食の充実について

問 食品添加物や農薬の安全性への関心は高い。①食材の品質確保は十分か。②有機野菜を取り入れる考えはあるか。③食育として児童生徒に感謝の心を育てて欲しい。所見を伺う。

答（教育長） ③健全な成長に重要であり、豊かな心を育むため、食育を積極的に推進していく。

答（教育部長） ①産地の確認や試食による品質チェックを行い、

※ウォーカブルなまちづくり…国土交通省が推進している「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりのこと

信頼できる業者を選定している。
②先進事例を参考に研究したい。

ウォーカブルなまちづくりについて

問 大堤地区に新たなにぎわい創出の計画がある。商業施設の誘致だけでなく、市民が憩える居心地の良いまちづくりをすることを意見する。所見を伺う。



「居心地が良く歩きたくなるまちなか」のイメージ
(出典元：国土交通省HP)

答（市長） 市内回遊性を高め、滞在時間延長を目指すことは、ウォーカブルなまちづくりと共

通するものがある。今後の構想で、議員提案の視点を積極的に活用し、調査検討していきたい。

マイナ保険証への移行について

問 ①市民の登録率と利用率は。②全国の登録解除申請が約1カ月で13,000件以上ある。情報漏えいの不安などは解消されていない。国に提言しているか。

答（市長） ②個人情報の利活用に関し、国民の理解が得られるよう丁寧な説明をし、適切な措置を講ずるよう要望している。

答（健康福祉部長） ①令和6年10月現在、登録率は国保62.5%、後期高齢者医療63.8%。利用率は国保21.3%、後期高齢者医療16.3%である。

総務常任委員会 行政視察報告

視察日 令和6年10月8日から10月10日

視察地および調査事項

- ・愛知県蒲郡市 メタバースやweb3を活用したコミュニティ形成事業について
- ・滋賀県草津市 消防団について

当委員会では、愛知県蒲郡市、滋賀県草津市を訪問した。

蒲郡市では、メタバースやweb3を活用したコミュニティ形成事業の取り組みを、蒲郡市学習者デジタルコミュニティ推進協議会がスタートアップ事業として取り組んでおり、大変感銘を受けた。既存概念にとらわれない新たな試みを、市と企業が一体となる取り組みは、大変参考となるものであった。

草津市では、2015年から外国人を消防団員に任命し消防団の担い手の確保に取り組んでいる。文化の違いなど課題が多々あ

るが、地域に貢献されていることが確認できた。また、企業から消防団員に登録すると、入札時の加点要素となるようにした試みは、大変有効であると感じた。



行政視察（蒲郡市役所）